

多治見市かわまちづくり協議会 資料



～ 第5回 ～

令和4年2月

1. 多治見市の概要

市の特徴

- 人口10.8万人（R3.4時点）
- 面積91.25km²
- 多治見市は、岐阜県の南南東、愛知県との県境に位置し、市の中央部に土岐川が流れる。
- 交通アクセスに恵まれ、東濃西部地域の産業、経済、文化の中心都市として中部経済圏の一翼を担っている。
- 陶磁器産業を地場産業として発展してきた。

これまでの取組み

平成21年度かわまちづくり計画

- 本町オリベストリートと商店街、駅を効果的につなぎ、**水辺環境を活かした人が憩える交流の場**を目指す

平成23年度かわまちづくり計画

- 「医療・福祉」と融合した河川環境の整備を行い、土岐川を介した**地域住民との交流**・地域活性化を目指す

⇒記念橋下流において遊歩道・広場・水辺整備が進む



2. 市内の河川の概要

- 岐阜県内では“土岐川”と呼ばれ、地域の身近な川として親しまれている。
- 多治見市では、周囲を囲む山々からなる盆地を形成し、その中心市街地を土岐川が流下している。
- 「りばーぴあ うながっぱ 土岐川あそび」や夏に「花火大会」等が行われ、多治見市内においても多くの人々が土岐川へ訪れています。

土岐川(一級河川庄内川水系)

- ・延長96km
- ・流域面積1,010km²



1. 関連計画における河川の位置づけ

第7次多治見市総合計画

共につくる。まるごと元気！多治見

【都市景観の形成】

- まちなかの市街地景観とまわりを囲む山々の自然景観との調和がとれた美しい風景を守り育て、整え、作り出すための取組を進める。

多治見市中心市街地活性化基本計画

「多治見らしさ」があふれるまちの顔

【まちを体感し回遊できるまちづくり】

- 中心市街地の中心を流れる土岐川河川敷などを活用し、水辺の賑わいをつくる。

第2次たじみ健康ハッピープラン

健康でいきいきと

幸せに暮らすことができるまち

- かわまちづくりを推進し、親しみやすい水辺環境と健康づくりに寄与します。

第3次多治見市都市計画マスタープラン

- 水と親しめる環境づくりに努め、市民の憩いの場としての機能の向上を図る。
- 本町オリベストリート、商店街、土岐川などの様々なスポットを体感し、回遊できるまちづくりを推進する。

多治見市産業・観光振興計画

【にぎわい】

- 交流・観光・移住定住により、ヒトのにぎわいを拡充させる
(中心市街地への出店促進、
着地型観光イベント)

2. 基本方針

①現状・課題

【現状】

●市民にとって愛着のある多治見らしさを象徴する川

多治見市は盆地の平地部分の中心に土岐川が流れ、その流域に市街地が広がっている。このため、土岐川存在は市民にとって身近で親しみのある河川であるとともに、多治見らしさを象徴する風景となっている。

また、土岐川を含め水辺に関する昔話が多くあり、川は住む人にとって古くから身近な存在であった。

●多治見を代表する歴史資源

対象区間においては、永保寺・虎溪山・虎溪用水・修道院等、多治見のシンボリックな歴史資源がある。

また市域には美濃焼を土台とした歴史文化、文化施設が豊富である。

●豊かな自然環境

多目的空間予定地はカメの営巣地である等、土岐川の豊かな自然環境が残っている。

●日常的な散策に利用されている

土岐川沿いは、通勤・通学、市民の健康づくり等の日常的な散策・ジョギング利用がされている。

【課題】

●河川空間とまちの連続性の不足

過去のかまちづくり計画によって記念橋下流の遊歩道が整備されている状況にあるが、記念橋上流においては未整備であり、連続性に欠ける。

さらに、まちづくりや観光の視点から、駅を基点にまちなかと河川空間、歴史資源を効果的につないでいく必要がある。

●川を知る・親しむ機会の提供

学校教育の現場では、子どもたちが地域の川について知る機会は増えてきているが、子どもたちが川の危険性、楽しさについて、十分に認識しているとは言えない。まずは、川を知ることから始め、安全に川と親しむ機会を提供していく必要がある。

●地域資源の活用によるさらなるにぎわいの創出

中心市街地では商店街の休業店舗や老朽化がみられる一方、空き店舗を活用した好事例も増えている。また、アニメのロケツーリズムやアウトドアスポーツ等新しいニーズも高まっている。

今ある資源や人財を活かし、にぎわいをさらに広げていく必要がある。

●健康・福祉のまちづくり

健康寿命の延伸、生活の質の向上に向けて、誰もがいつでも気軽に運動できる環境を整えていく必要がある。

②かわまちづくりのコンセプト

全国有数の暑いまち多治見市において、土岐川はまちに涼を運んでくれるCoolスポットでもあります。また、対象区間は本市にとってのシンボリックな歴史資源が集積するHotなエリアでもあります。

こうした対象区間が持つ魅力を活かし、自然と歴史・人をつなぎ、まちと川の広域的な回遊性を高めていくとともに、交流・体験や健康増進の機会の提供により、市民が“ほっと”できる癒しとやすらぎを感じる“く～る”な水辺空間を創出していくことを目指します。

ここがHotな多治見の く～るスポット

Hot

Hot :全国有数の暑いまち
ホット:魅力的・話題の場
ほっと:市民がほっとできる場

く～る

Cool : 水辺の涼しさ
クール: かわいいと思える多治見の魅力
来る : 回遊性を高め、皆が集い楽しめる場



多治見市マスコットキャラクター
「血を割られたかつぱ様」の
昔話が起源。鰻とかつぱの
ハーフとも言われる。
多治見市が川に愛着があ
ることを象徴するキャラクター

③基本方針

基本方針1 土岐川の自然を活かしたかわづくり

土岐川の豊かな自然環境や景観を保全し、多様な生き物との共生を図るとともに、これらの自然環境を活かした河川空間づくりを進めます。

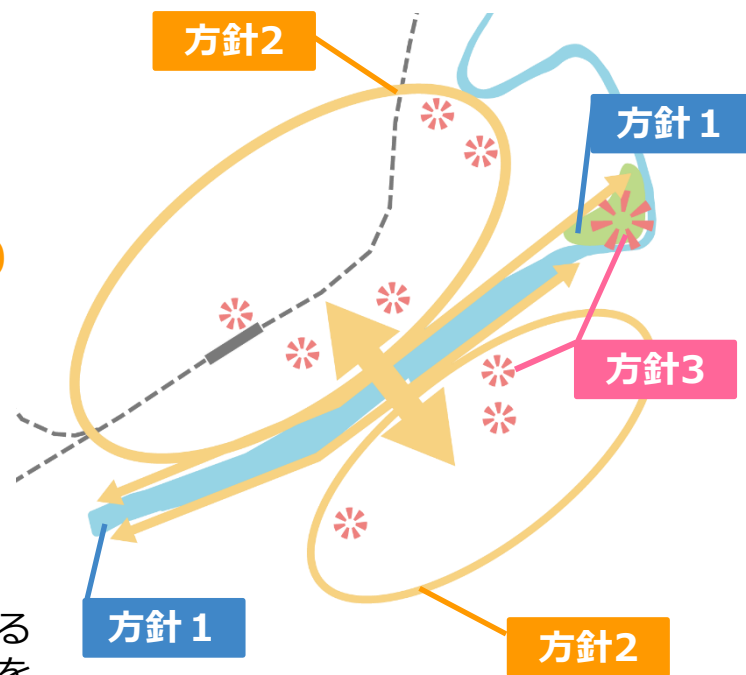
基本方針2 かわとまちの回遊性を高めるしかけづくり

市街地における土岐川沿いの連続性を確保し、さらには、かわとまちなか、多治見を代表する歴史資源をつなぎ、河川空間とまちが一体となるような仕掛けづくりを進めます。

基本方針3 かわとまちの新たな魅力づくり

まずは川を知ってもらうことからはじめ、かわとまち・ひとをつなげるための体験・交流活動を実施し、安全・安心、魅力的なかわまちづくりを推進します。

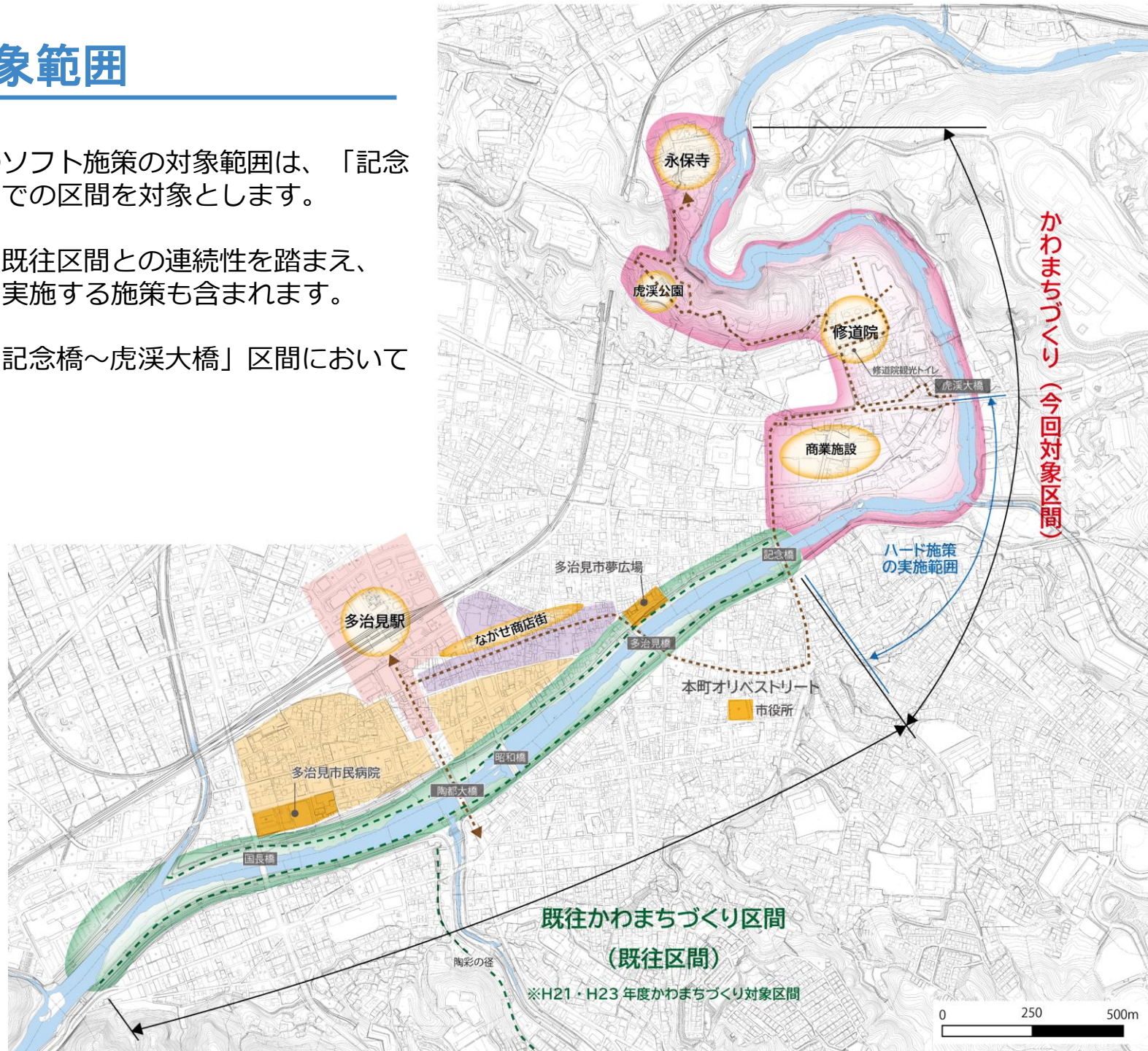
また、地域の魅力向上・市民の健康増進に寄与し、市民が川に親しみ・集う魅力ある水辺空間の活用を継続して検討します。



■方針イメージ図

④計画対象範囲

- かわまち計画のソフト施策の対象範囲は、「記念橋～永保寺」までの区間を対象とします。
- ソフト施策は、既往区間との連続性を踏まえ、エリア全体にて実施する施策も含まれます。
- ハード施策は「記念橋～虎溪大橋」区間において実施します。



⑤基本方針とその施策

基本方針1 土岐川の自然を活かしたかわづくり

施策番号	施策名・概要
1-1	自然環境・景観に配慮した整備 大規模な改変は行わず、既存木・地形を活かした自然観察ゾーン等の自然環境・景観に配慮した整備を行います。特に、記念橋上流にある寄洲(50.2k)では、高水敷整正や散策路の整備、休憩施設の設置等、多目的に利用できる空間を整備します。
1-2	河川の生き物調査やクリーン作戦などの環境保全活動 土岐川は多治見市街地に近接していますが、多目的空間はカメの営巣地である等、良好な自然環境が残されています。河川の生き物調査の実施や、市民・関連団体等と連携した「たじみかわまちサポーター」による清掃活動等、良好な河川環境の保全への取組みを実施します。

基本方針2 かわとまちの回遊性を高めるしかけづくり

施策番号	施策名・概要
2-1	散策路の整備 土岐川沿川の既往区間と連続する上流部の散策路整備を行います。 多治見駅を基点に土岐川を介在して商店街、本町オリベストリート界隈から修道院や永保寺の歴史資源をつなぐ、歩行者・自転車利用者の広域的なネットワークとして活用を図ります。
2-2	散策ルートの設定と情報発信 土岐川沿川の既設区間と今回整備する新規区間を合わせ、虎溪山エリアに点在する歴史資源を巡る散策ルートや広域的な自転車ルートを設定します。 観光ボランティアガイドやレンタサイクル事業者等と連携し、散策マップを作成する他、多治見ものがたりや虎溪山の歴史・昔話と合わせて、市や観光協会等の関連団体のホームページやパンフレット、案内サインにて情報発信していきます。

⑤基本方針とその施策(続き)

基本方針2 かわとまちの回遊性を高めるしかけづくり

施策番号	施策名・概要
2-3	散策ルートを活用したイベントの開催 土岐川沿川の既設区間と今回整備される新規区間の散策ルートを活用し、ウォーキング・サイクリングイベントを開催します。市民の健康づくりの観点から保健センターと健康づくり推進員が実施するウォーキングイベントや、中心市街地におけるレンタサイクル事業者が実施するイベント等と連携していきます。

基本方針3 かわとまちの新たな魅力づくり

施策番号	施策名・概要
3-1	かわとまち・ひとをつなげるための体験・交流活動 多目的空間を活用し、土岐川を知る・学ぶ・遊ぶ自然体験活動を展開します。また、地域住民や周辺福祉施設利用者の健康づくり・交流の場、多治見の産業を活かした陶芸等の体験活動の場（野焼き・陶片工作・ビーチコーミング等）などとして活用を図ります。 また既往区間を含め、土岐川河川敷での既存イベント（りばーぴあうながっぱ土岐川あそびや花火大会等）での拠点として活用していきます。
3-2	新たな魅力となる事業の検討 （民間事業者へのサウンディング調査・社会実験の継続実施） 多目的空間を活用し、新たな魅力を創出していくために、民間事業者へのサウンディング調査や社会実験を実施します。具体的には、河川の魅力を活かしたアウトドアスポーツ、音楽・飲食・物販イベント等を想定しています。

⑦事業スケジュール

基本方針1 土岐川の自然を活かしたかわづくり

番号	施策名	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
1-1	自然環境・景観に配慮した整備		設計	施工			(部分)供用開始		
1-2	河川の生き物調査やクリーン作戦などの環境保全活動	活動内容・体制の検討		活動の継続実施					

基本方針2 かわとまちの回遊性を高めるしかけづくり

番号	施策名	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
2-1	散策路の整備		設計	施工			(部分)供用開始		
2-2	散策ルートの設定と情報発信		ルート・発信方法の検討			活動の継続実施			
2-3	散策ルートを活用したイベントの開催	社会実験		活動検討		活動の継続実施			

基本方針3 かわとまちの新たな魅力づくり

番号	施策名	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
3-1	かわとまち・ひとをつなげるための体験・交流活動	社会実験		活動検討 (既往区間において一部開始)			活動の継続実施		
3-2	新たな魅力となる事業の検討	・社会実験 ・民間事業者へのサウンディング ・事業化に向けた検討			・事業公募 ・都市・地域再生等利用区域の指定		活動の継続実施		

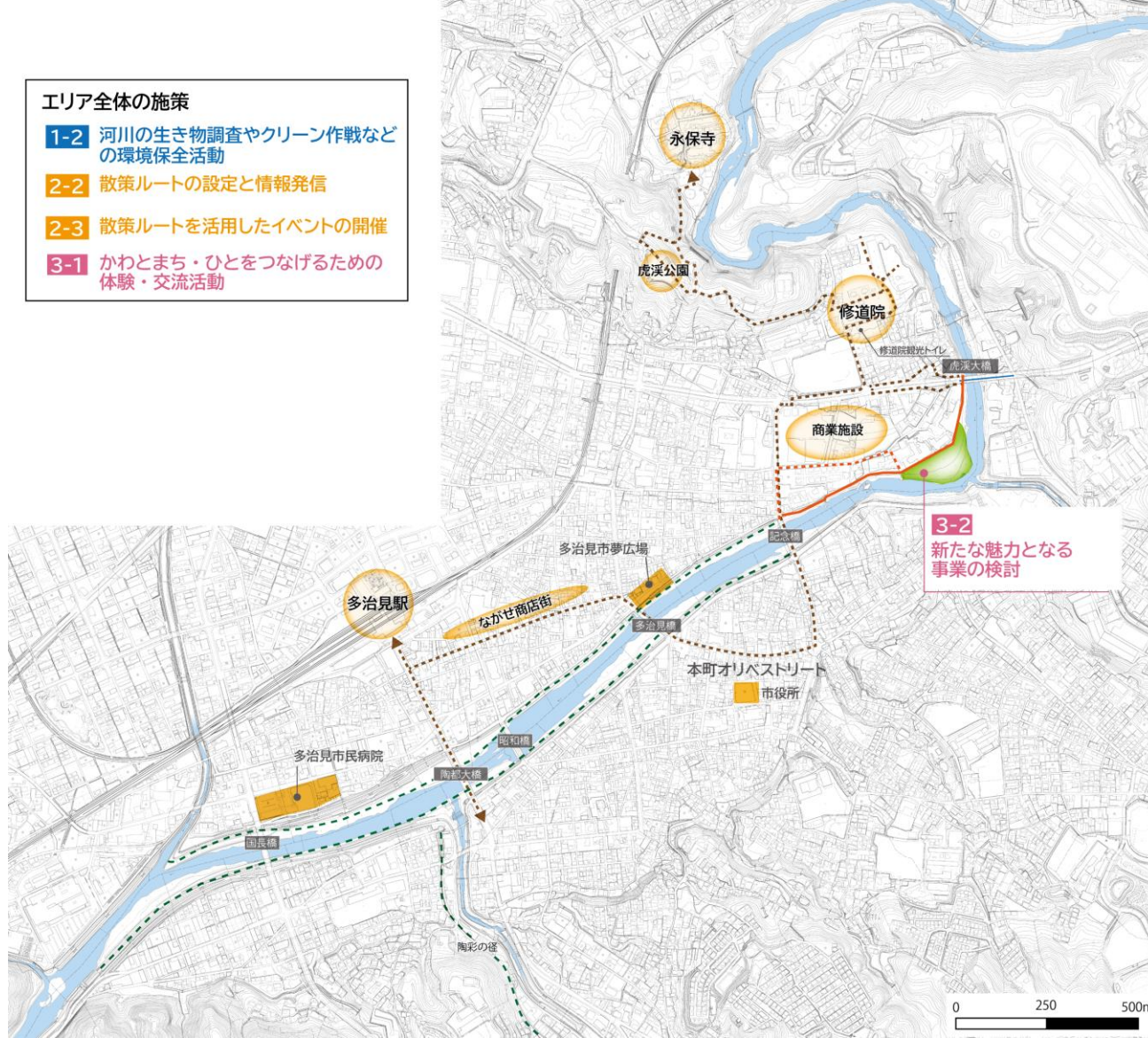
※今後の調整により変更する可能性があります

1. ソフト施策の概要

- 土岐川沿川の環境保全に関する活動をはじめ、かわとまち・ひとをつなげるための体験・交流活動、多目的空間における新たな魅力づくりを進める。
- 土岐川沿川の散策路の既存区間と今回整備する新規区間を合わせエリア全体で、情報発信やイベントを開催する。

エリア全体の施策

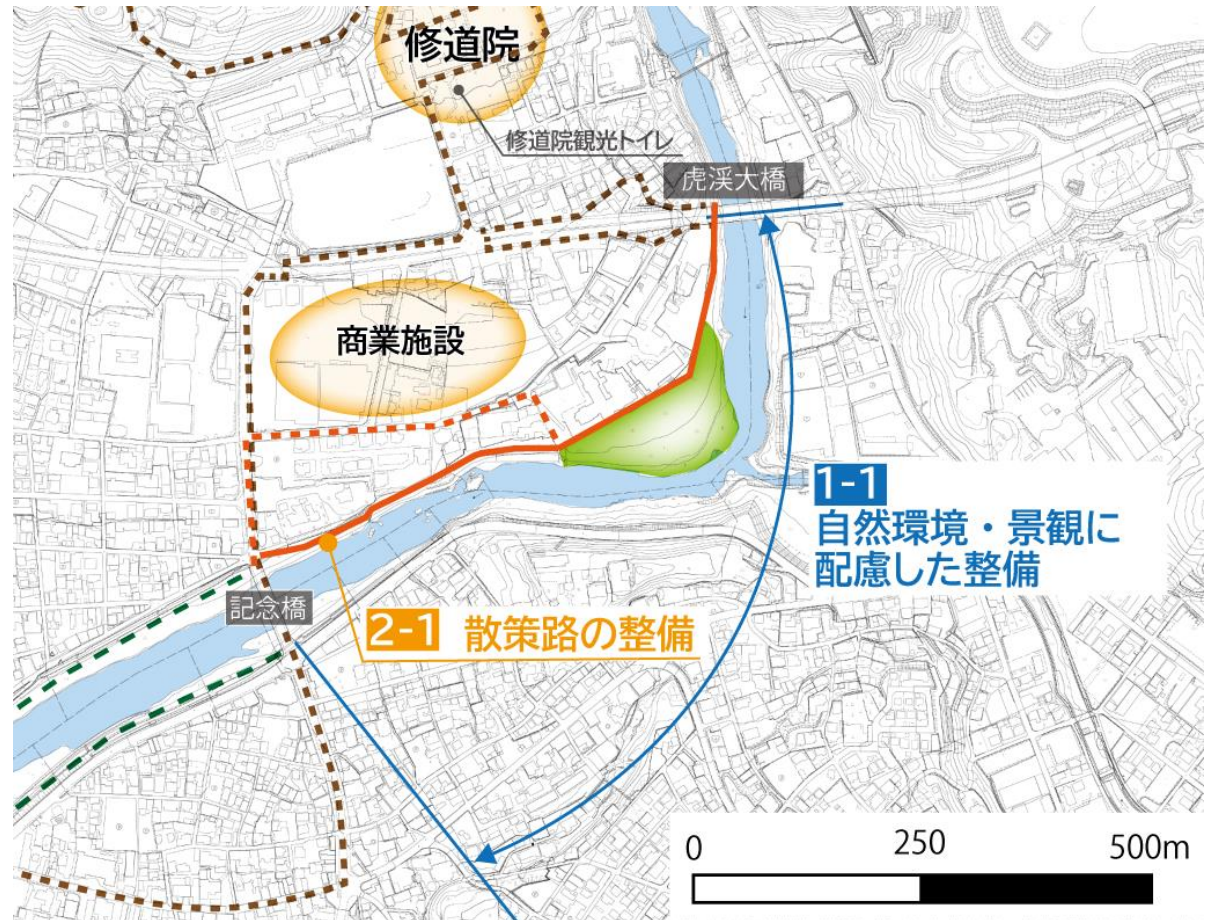
- 1-2 河川の生き物調査やクリーン作戦などの環境保全活動
- 2-2 散策ルートの設定と情報発信
- 2-3 散策ルートを活用したイベントの開催
- 3-1 かわとまち・ひとをつなげるための体験・交流活動



1. ハード施策の概要

①ハード施策の概要

- 今回のハード整備対象区間において、自然環境・景観に配慮した整備を実施。
- 川とまちの連続性を確保し回遊性を高めるため、散策路（沿川沿い、市街地内の2つ）を確保。

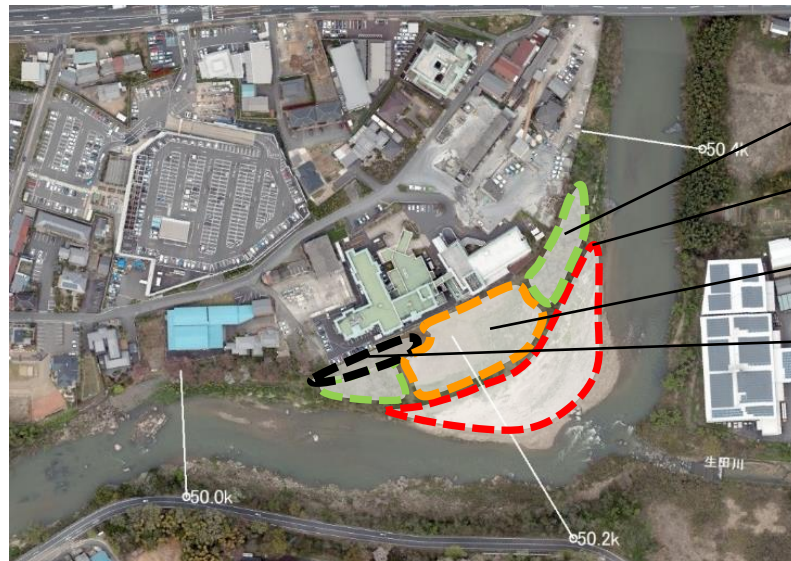


基本方針 1 施策番号 1 - 1 自然環境・景観に配慮した整備（多目的空間）

整備ゾーニング

- 増水時に冠水しやすい特性や進入路等の位置関係を踏まえ、エリアのゾーニングを設定し、整備を実施

- 現状の砂州地形を活かした親水体験、アウトドアスポーツ、イベント利用
→ 水際部の親水利用ゾーン
- 自然環境（草木）を活かした自然観察・アウトドア利用
→ 自然観察・アウトドア利活用ゾーン
- 日常的な散策・休息利用、健康・交流、イベント活用、駐車場、通路 等
→ 高水敷の多目的利活用ゾーン・駐車場ゾーン



自然観察・アウトドア利活用ゾーン

水際部の親水利用ゾーン※

高水敷の多目的利活用ゾーン

駐車場ゾーン

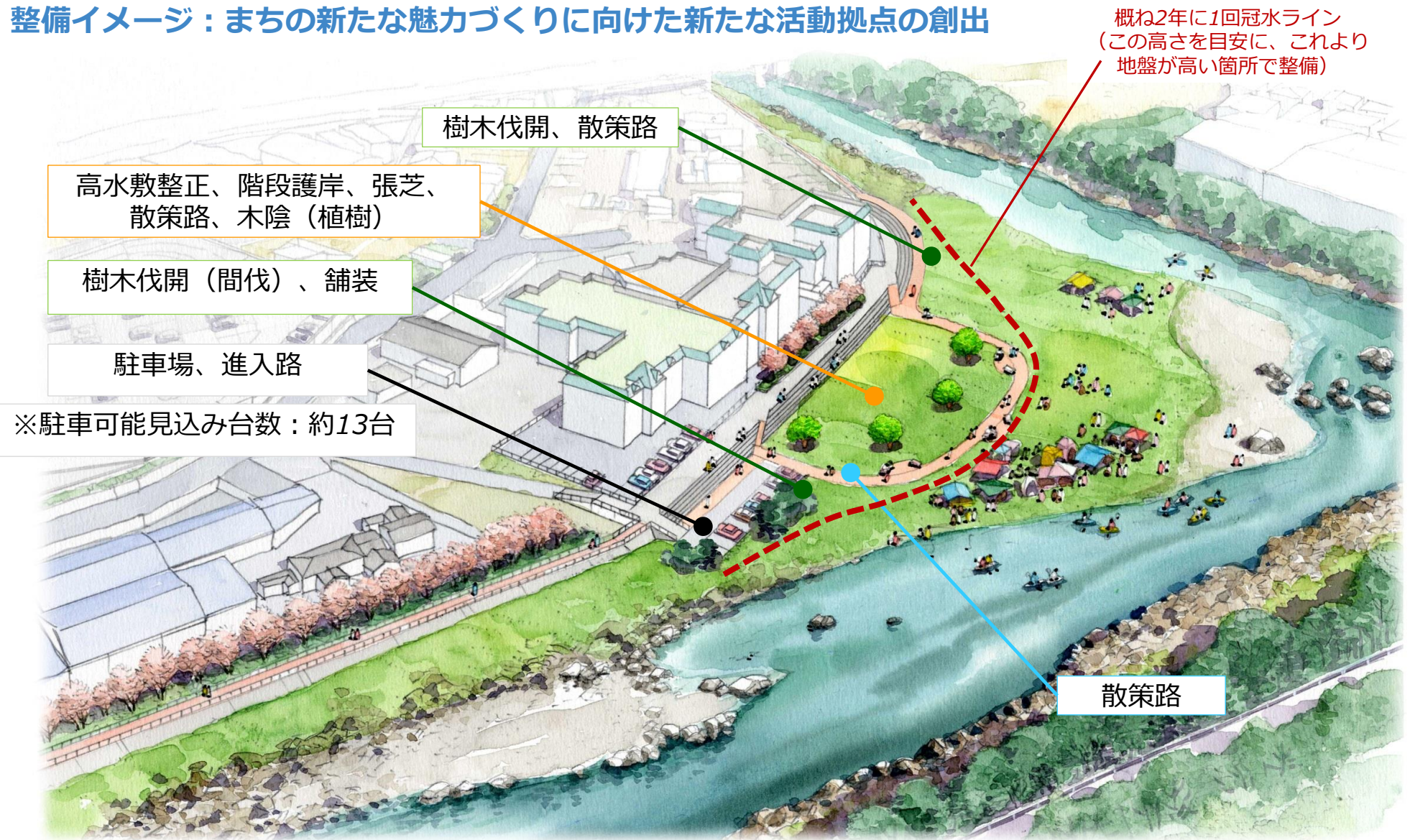
※水際部の親水利用ゾーンは、概ね2年に1回程度冠水する範囲を目安に設定。

基本方針 1

施策番号 1 - 1

自然環境・景観に配慮した整備（多目的空間）

整備イメージ：まちの新たな魅力づくりに向けた新たな活動拠点の創出



※資料はイメージを示すもので、今後変更する可能性があります

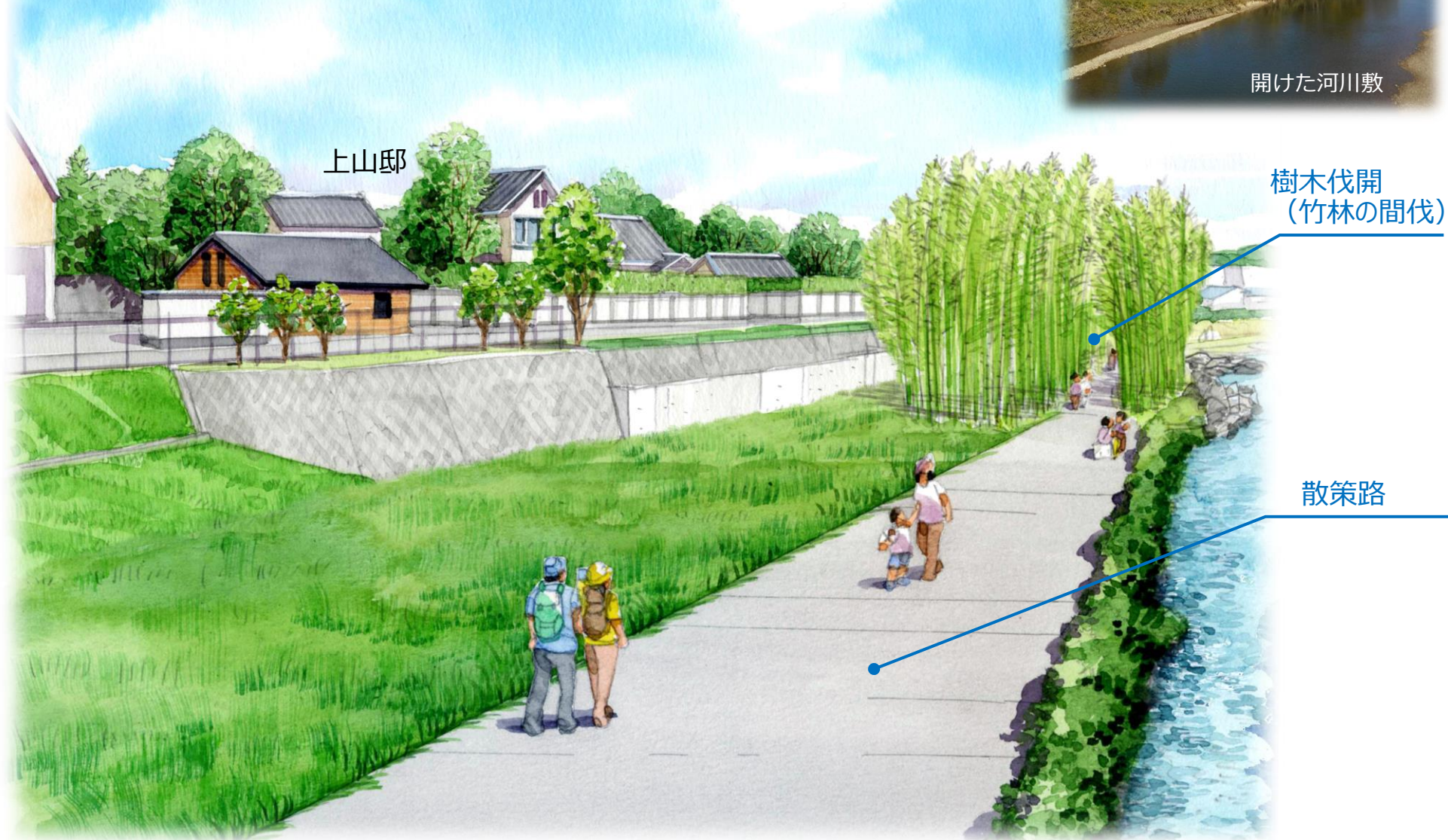
基本方針2 施策番号2-1 散策路の整備

整備方策：川とまちの連続性を確保し回遊性を高めるため、散策路（沿川沿い、市街地内の2つ）を整備



整備イメージ：散策路（沿川沿いルート）

区間 1：記念橋上流区間



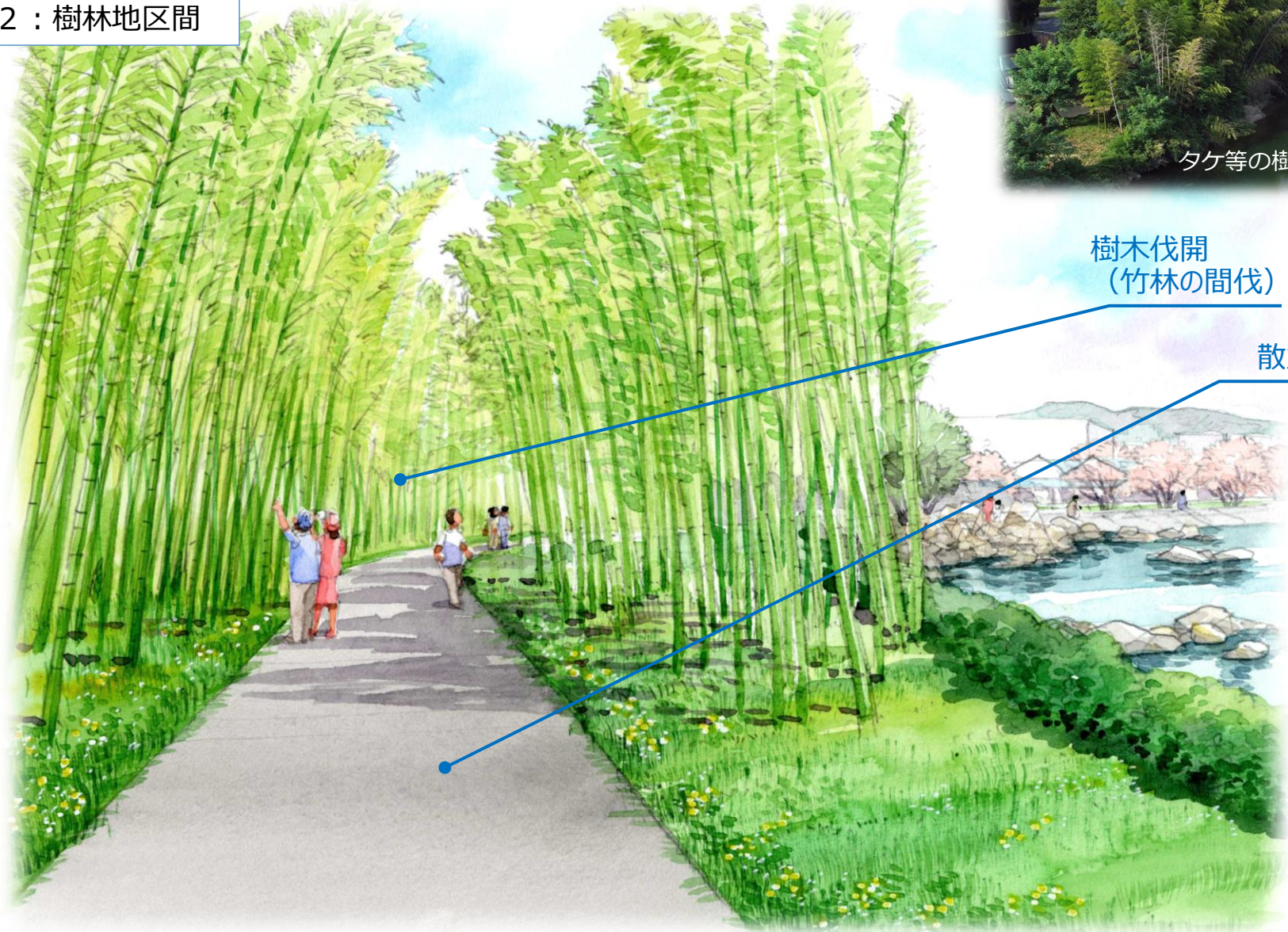
※資料はイメージを示すもので、今後変更する可能性があります

基本方針 2 施策番号 2-1 散策路の整備

現在の状況

整備イメージ：散策路（沿川沿いルート）

区間 2：樹林地区間



※資料はイメージを示すもので、今後変更する可能性があります

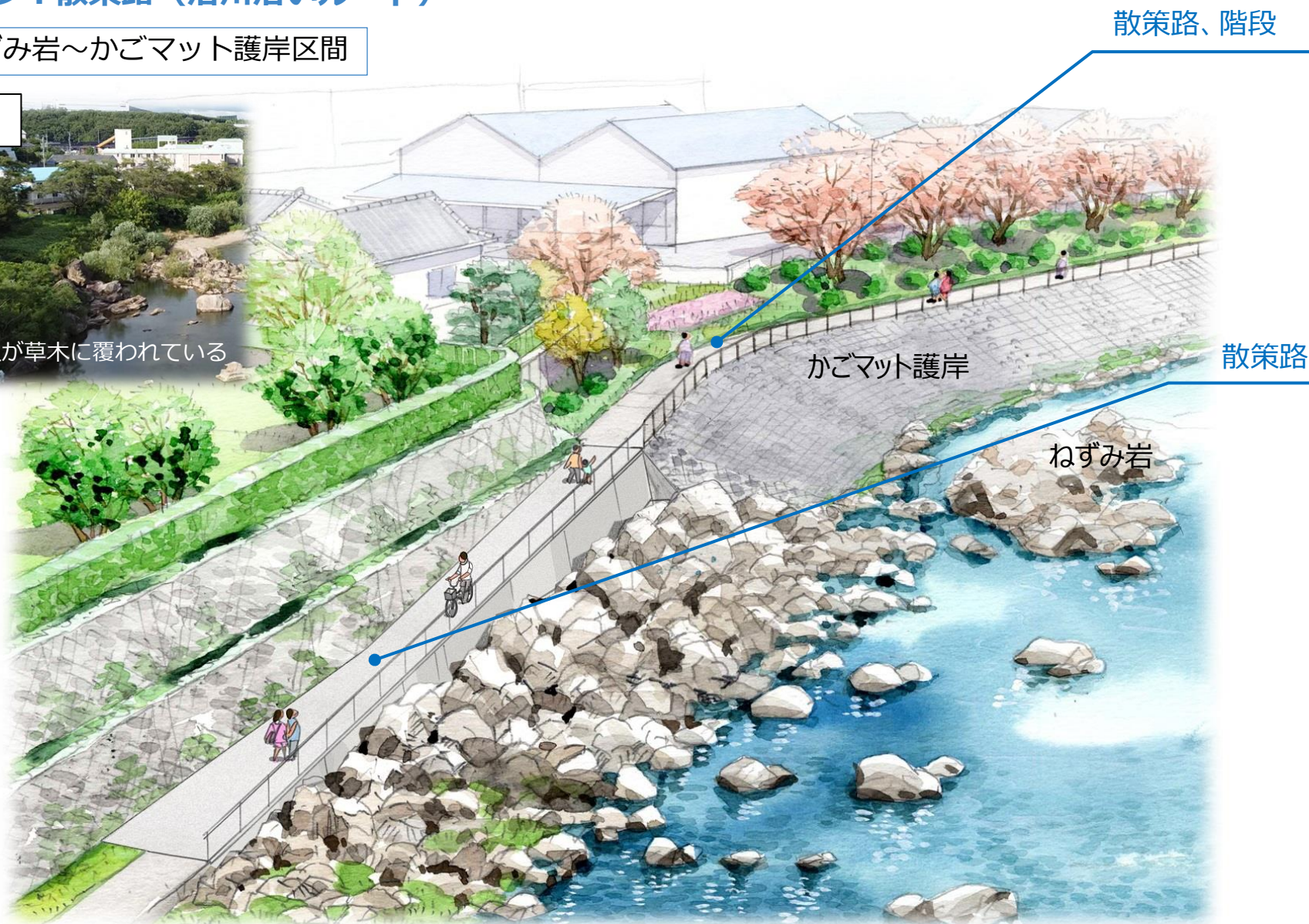
基本方針 2 施策番号 2-1 散策路の整備

整備イメージ：散策路（沿川沿いルート）

区間 3：ねずみ岩～かごマット護岸区間

現在の状況

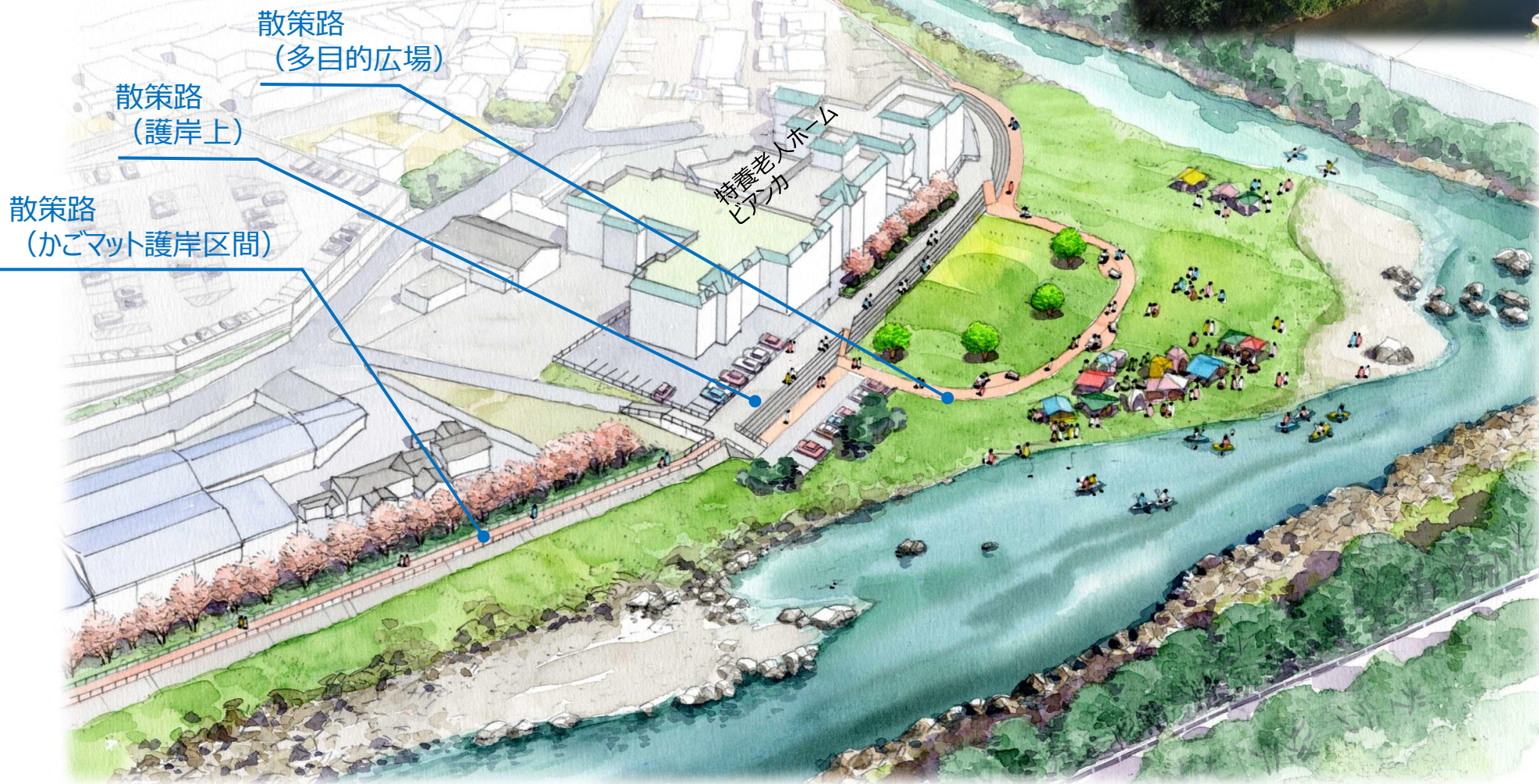
ネズミ岩周辺が草木に覆われている



※資料はイメージを示すもので、今後変更する可能性があります

整備イメージ：散策路（沿川沿いルート）

区間4：かごマット護岸～多目的空間区間



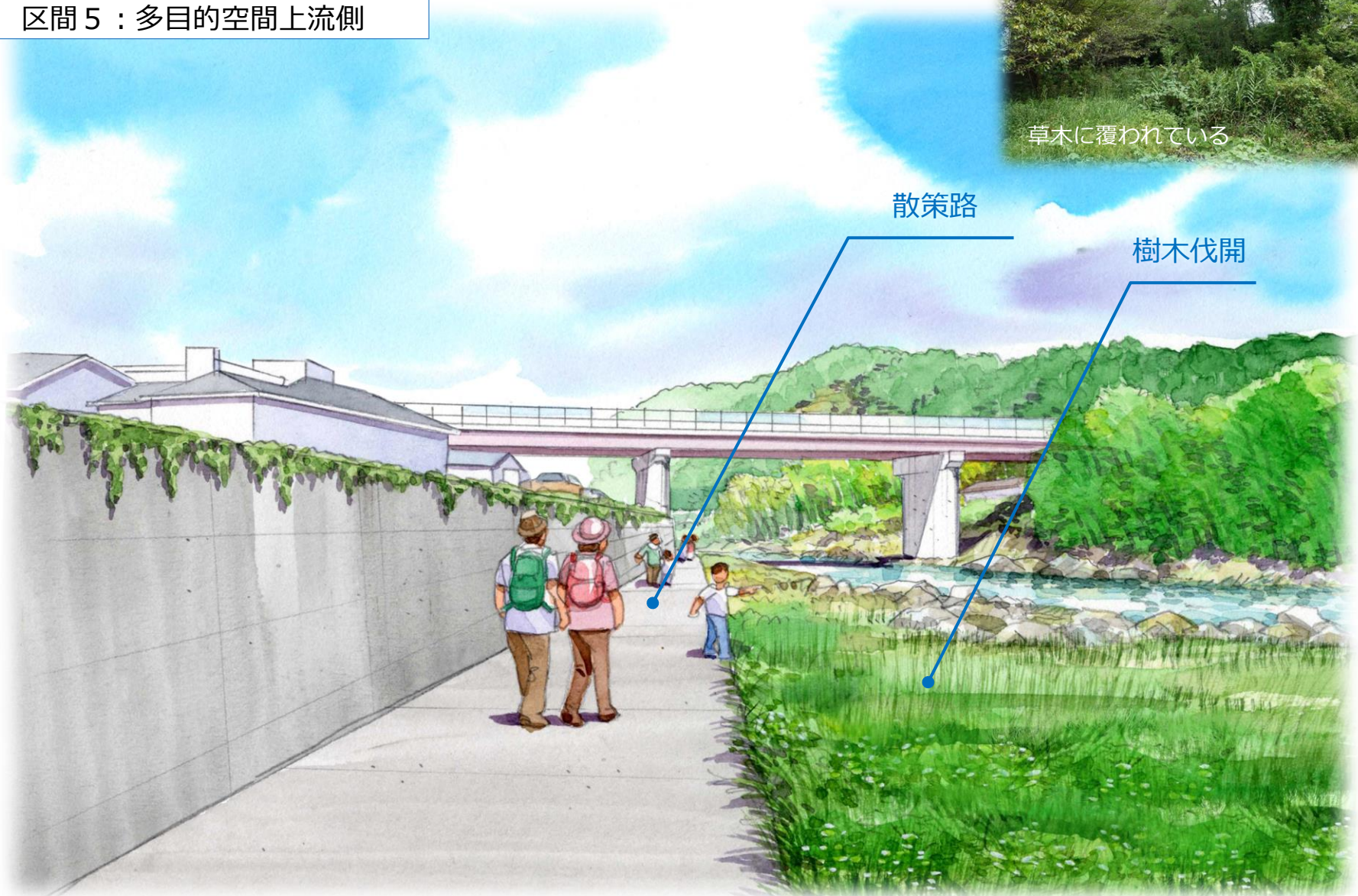
※資料はイメージを示すもので、今後変更する可能性があります

整備イメージ：散策路（沿川沿いルート）

区間 5：多目的空間上流側



草木に覆われている



散策路

樹木伐開

※資料はイメージを示すもので、今後変更する可能性があります

基本方針 2 施策番号 2-1 散策路の整備

整備イメージ：散策路（沿川沿いルート）

区間 6：虎溪大橋付近

散策路

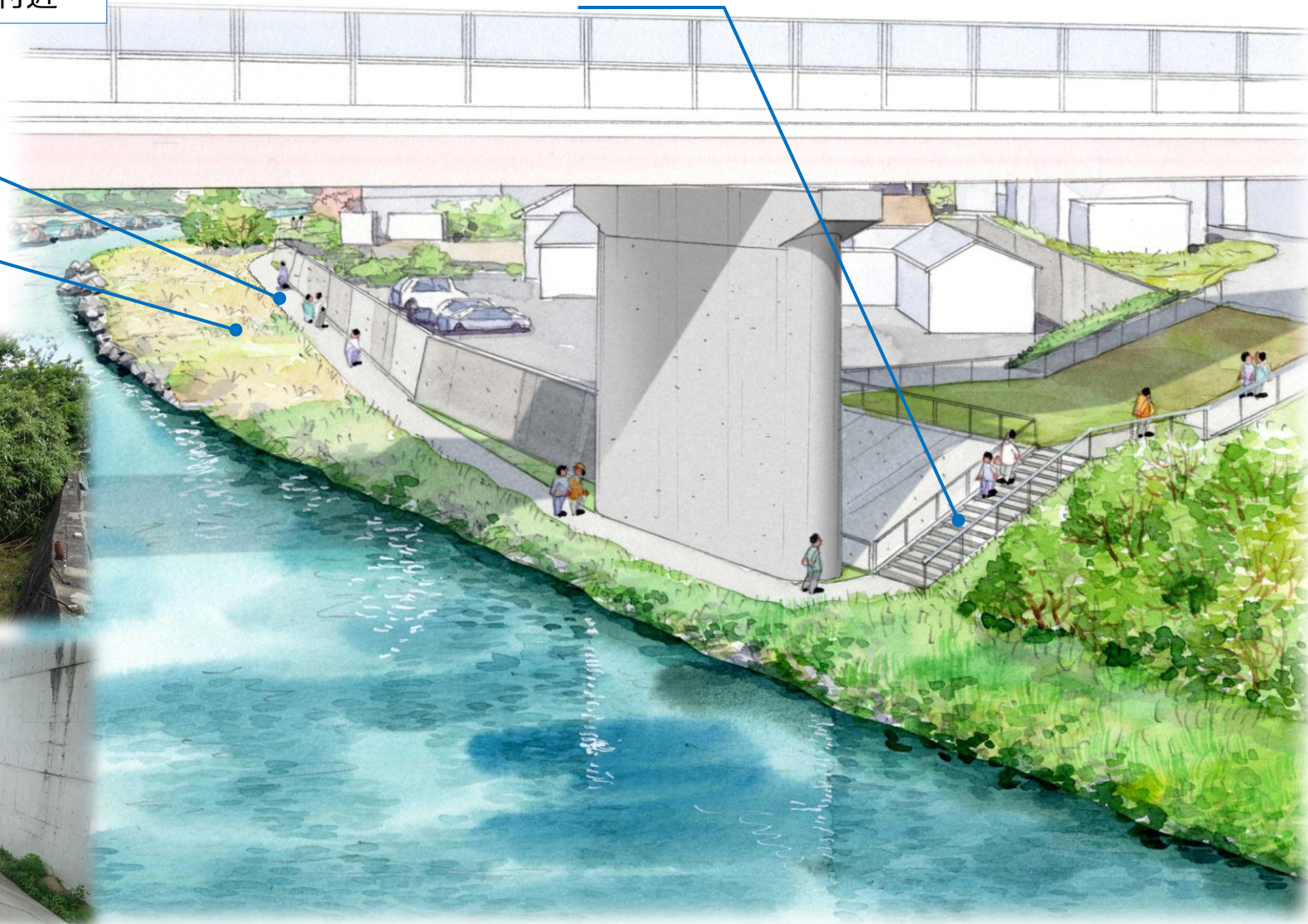
樹木伐開

現在の状況

（虎溪大橋下流側の状況）
草木に覆われている

（虎溪大橋付近の状況）
市道側とは往来できない

階段
（市道へ）



※資料はイメージを示すもので、今後変更する可能性があります

5. 推進体制について

- かわまちづくり計画の主にソフト施策の推進や、多目的空間の利活用方法・維持管理体制について、今後、専門部会を立ち上げ、具体的に検討を行っていく。

多治見市かわまちづくり協議会(R3.3設立)

◇活動目的・内容

- 多治見市かわまちづくり計画の策定、計画の変更、計画に基づく事業の実施に関することについて協議する。

◇委員

- 河川関係団体関係者、産業観光関係者、地域関係者、河川及び道路に関する行政機関、市の機関の職員

Hotな多治見のく～るスポットを創る会(仮称)

◇活動目的・内容

- かわまちづくり協議会の専門部会として、具体的な事業推進や利活用、維持管理方策について検討する。
- かわまちづくり計画の主にソフト施策について推進するため、社会実験を積み重ねながら、実走に向けての検討を行う。

◇委員

- 協議会の一部委員
- 希望する民間事業者

6. 有効利用及び維持管理について

①施設の利用に関する計画

- ・ 「多治見市かわまちづくり協議会」において、構想段階から地域住民が参画しており、地域住民による継続的な利活用、維持管理が可能となります。
- ・ 今後は「Hotな多治見のく～るスポットを創る会（仮称）」を設立し、協議を重ねて活動を実施していきます。

②維持管理計画

- ・ 施設の占用及び維持管理については、多治見市が主体的に行います。
- ・ 出水等の災害に対する施設被害に関しては、国土交通省が支援し、多治見市が主体的に行います。
- ・ 日常の清掃等については、多治見市、地元市民や各種団体等により実施するものとします。

かわまちづくり計画策定スケジュール（案）



項 目	令和 3 年											令和 4 年				
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
協議会	第1回			第2回					第3回	第4回		第5回				
社会実験					社会実験											
庁内会議													庁内協議			
パブリックコメント													パブリックコメント			
計画						計画(素案)作成					計画(案)作成		計画策定	登録申請		

開催テーマ（案）

- 第 1 回（3/3）かわまちづくり支援制度、スケジュール、社会実験
- 第 2 回（6/29）現地視察、多目的広場の整備、社会実験
- 第 3 回（11/2）かわまちづくりの現状と課題、目標、整備メニュー案、社会実験
- 第 4 回（12/22）かわまちづくり計画（素案）、推進体制、有効利用及び維持管理、社会実験
- 第 5 回（2/24）かわまちづくり計画（最終案）

今後の社会実験（予定）

- 3月20日岐阜ジムニーイベント

参考 虎渓大橋上流側での散策路整備の可能性

- ・ 虎渓大橋上流部（右岸）は、山付き（溪谷）区間であり、河川敷が崖地で極小幅である。
- ・ 堤防や河川敷がほとんどない当該箇所において、現時点でのかわまち整備は実施困難である。

●虎渓大橋上流部の状況（R4.2撮影）

